

牛についてはこれまで殆ど実績が無かったが、現在北海道への出荷が増加している。弊社飼料製品を使用している乳牛牧場を視察した結果は以下の通り。北海道向けには、焼酎廃液由来の飼料と TOMOKO の中間製品 (TOMOKO 2) を製造、出荷している。この牧場では一頭に対しこの製品を 1 頭当たり一日 50 グラム給餌。

- (効果) - 牛がストレスを感じ無くなるらしく横になって餌の反芻を行う牛が大半になった。以前は殆ど立ったままで反芻。またボス牛が給水場を独占するというイジワルも何故か無くなった。
- 糞が硬くなり、尿の量も減り、牧場内で臭いが殆どしなくなった。
  - 夏バテを起こさず、食欲が旺盛で、搾乳量も増加。
  - 糞尿から堆肥を製造しているが、従来は発酵開始までに 1 週間程度必要だったが、今では 1 日で発酵が始まる。

一方下記データは、平成 19 年中近東での仔牛に対する実験結果。

(仔牛に 20 日間、TOMOKO を一日 30 グラム、ミルクに混ぜ 2 回に分けて給餌、)

	CONTROL	TOMOKO	
体重増加率	8 . 8 2 %	1 1 . 9 6 %	
calf scour	moderate-severe	nil- slight	(下痢)
pneumonia	slight-moderate	nil- slight	(肺炎)
body score	3	5	(肥育状況: 1 - 5 で表示)
Mortality	2 0 . 0 0 %	6 . 7 0 %	(死亡率: 中東なので高い)

上記の結果から見ると、反芻動物である牛の場合は少量の給仕で大きな効果が出る模様。また仔牛で免疫抵抗力が大幅に強化されていることから、母豚・仔豚等についても同様の効果が期待出来ると思われるので給餌適量について現在試験中。

以上